

戦略性が高く、意欲的な目標・計画に係る取組 Strategies for Third Medium-term Goals and Medium-term Plans

【戦略性が高く、意欲的な目標・計画】とは

平成28年度から6年間の大学運営方針をまとめた第3期中期目標・中期計画の中でも、特色ある活動や高い目標を掲げている目標・計画です。

以下に「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」の2つのテーマより取組を紹介します。

【テーマ①：文理を超えた幅広い視野を持ち世界に通用する女性リーダーの育成】に係る取組

●理工系教育のあり方を研究開発するとともに、女性リーダーの育成拠点として、教養教育を基礎とした教育プログラムを確立する

奈良女子大学は平成27年にお茶の水女子大学と共同で理系女性教育開発共同機構を設置しました。多くの女性が中等教育段階の理数教育に興味・関心を示さず、理工系進学を目指そうとしない現状に鑑み、女性の理工系学問への関心を惹起することができる新たな理数教育のモデルを、中等教育のレベル、大学教育のレベルそれぞれに確立することを目指しています。

令和元年度は附属中等教育学校と、女子生徒による科学研究発表会である、「集まれ！理系女子」関西大会を開催するとともに、国際サイエンスワークショップとして、「グローバル理系女性育成国際サマーキャンプ2019：SCORE2019」を実施し、ワークショップ、企業見学、フィールドワークその他の活動を行いました。



【テーマ②：大和・紀伊半島から世界へ、世界から大和・紀伊半島へ、教育研究のグローバル化の推進と地方創生】に係る取組

●大和・紀伊半島地域の地方創生につながるための教育研究を推進する

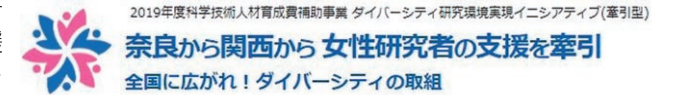
平成27年度に採択された地(知)の拠点大学による地方創生推進事業「共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト」(COC+事業)は、令和元年度末に補助事業期間が終了しましたが、引き続き、学生が地域の中に入り、課題発見・調査・研究する体験型学修プログラムや、県内自治体、企業等の協働機関との間で築かれたネットワークの活用を通じて、地方創生に寄与する人材の育成に取り組んでいくと共に、同事業を大和・紀伊半島地域の文化的・歴史的価値の再発見のための研究と連動させることを目指します。



最近のトピックス Topics

●ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブに採択されました。

令和元年度には、文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業に本学が代表機関として採択されました。本事業では、ダイバーシティ研究環境の整備や女性研究者の研究力向上を目的とした事業を共同実施機関(2つの高等教育機関と3つの関西の企業)と連携して実施するために、学長をセンター長とするダイバーシティ推進センターの設置、女性研究者賞や共同研究スタートアップ支援制度の構築、子育て支援システムの機能拡張、利用者拡大など様々な取組に着手しています。



●大学院人間文化研究科を「人間文化総合科学研究科」に名称変更するとともに、大学院博士後期課程を改組しました。

人間文化研究科では、博士後期課程において、これまでの学士課程改組(平成26年度)及び博士前期課程改組(平成30年度)を踏まえ、基礎学問分野が見えるより分かりやすい教育組織・名称となるよう、生活工学共同専攻を除く4専攻を3専攻に改組するとともに、研究科の名称についても、①昭和56年に人間文化研究科が発足した後、社会の急速な変化に対応するために行われてきた組織変更により、自然科学系の学問領域が加わり「科学」という名称を付すのに十分な教育研究体制が構築されたこと、②今後の社会に求められる学問は、基盤的学問分野の境界領域や異分野の複合的かつ総合的な取組を起点とすると考えられることから、対外的に理系分野もみえるように「人間文化研究科」から「人間文化総合科学研究科」に令和2年度より名称及び組織変更しました。

●令和4年度に、女子大学初となる「工学部」を設置します。また、生活環境学部を改組し「文化情報学科」を設置します。

理工系人材の養成に対する社会の要請に応えるべく、幅広い教養や基礎的な知識に立脚する応用力とコミュニケーション能力を兼ね備えた工学系人材を育成する機能を強化するため、令和4年度に新たに工学部工学科(入学定員45名)を設置する予定です。

また、ジェンダー平等に代表される現代社会・人間社会に関する理解とSociety5.0時代に不可欠なリテラシーである数理・情報を適切に活用する素養を併せ持ち、生活者の視点と文理循環的思考から自ら考え議論をして提言し、豊かで活力ある未来を主体的に創ることができる女性人材を育成するため、生活環境学部生活文化学科を改組し、文化情報学科を設置する予定です。



●奈良の高等教育総合化による教育研究の学問の府(奈良カレッジズ)の創成を目指します。

奈良教育大学と奈良女子大学は、令和4年4月に法人統合を行い、両大学の資源・強みを活用し、教育・研究の機能強化、学びの多様化、大学運営力向上のため、「国立大学法人奈良(仮称)」設立に向けた合意書を令和元年6月28日に締結しました。

この統合により、両大学が核となり、奈良県下の国立教育・研究諸機関、関西文化学術研究都市や地域の企業と連携体制を構築し、既存の総合大学とは異なる「教育研究の学問の府」(「奈良カレッジズ」)の創成を目指します。

